

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

〈日本全国、世界約80カ国から80,000名を超える食のプロが幕張に集う4日間〉

The 43rd International Food and Beverage Exhibition

FOODEX JAPAN 2018 

第43回 **国際食品・飲料展**

2018年3月6日(火)～9日(金) 幕張メッセ

新規出展ゾーン「ショートタイムクッキング」「グローバルスタンダード」関連企業の出展募集中

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）ほか4団体は、2018年3月6日（火）～9日（金）に、幕張メッセ（千葉市）で、アジア最大級の国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN 2018（フーデックスジャパン）」を開催します。

本展は、日本全国、世界の食品・飲料のトレンド発信地として行われるアジア最大級の食品業界関係者向けの専門展示会です。

43回目となる今回は、人手不足対応・生産性向上等を目的とした「ショートタイムクッキング」ゾーン、ハラル認証などの国際規格認証を取得した商品を展示する「グローバルスタンダード」ゾーンを新設いたします。（詳細は次項にて記載）

現在、国内外のフードサービス、小売、ホテル・旅館関係者などの業界関係者に向けた、食品・飲料メーカー・商社の出展を募集しています。

出展ブース料金（税込）は、1ブース（間口・奥行2.7m×高さ2.7m）あたり主催5団体の正会員および賛助会員が37万8,000円、会員外は41万400円。出展申し込み締め切りは2017年10月13日（金）。お申し込みは日本能率協会（TEL：03-3434-3453）まで。

出展対象製品やブースの詳細は公式ホームページでご覧いただけます。

〈公式ホームページ〉 <http://www.jma.or.jp/foodex/>

〈開催概要〉

展示会名	FOODEX JAPAN 2018(第43回国際食品・飲料展)
会期	2018年3月6日(火)～9日(金)の4日間 10:00～17:00(最終日は16:30まで)
会場	幕張メッセ
主催	日本能率協会 日本ホテル協会 日本旅館協会 国際観光日本レストラン協会 国際観光施設協会
協賛	関連47団体(申請中)
予定展示規模	3,350社/4,000ブース (前回3,282社/3,879ブース)
予定来場者数	85,000名 (前回実績82,434名)
来場方法	¥5,000(「招待券」をお持ちの方は無料。ただし一般の方、16歳未満の方は入場不可)
来場対象	食品・飲料の購買担当者(外食・中食、小売、商社・卸、食品メーカー、ホテル) ※本展は、ビジネスや商談を目的とした食品業界関係者向けの専門展示会です。

【本件に関するお問い合わせ】 一般社団法人日本能率協会 産業振興センター内
FOODEX JAPAN事務局 TEL:03-3434-3453 E-mail: foodex@jma.or.jp
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階
※取材のお問い合わせは、広報室(TEL:03-3434-8620/担当:斎藤)へお願いいたします。

FOODEX JAPAN2018 新規出展ゾーンのご紹介

(1) 人手不足・時短を応援！ひと手間で他と差別化できる商品を大募集

ショートタイムクッキング ～素材を売る時代から、売れるメニューを提案する時代～

日本国内市場では、女性の社会進出の伸展による有職主婦の増加などを背景に、家庭内での調理は簡便化、惣菜などの即食ニーズや、外食等を利用される方々が増えています。その一方、外食などのサービス産業では人手不足問題を抱えており、アルバイトスタッフでも調理が可能なメニュー開発や、スタッフへのオペレーションが容易な業務用製品が必要とされているなど、課題が顕著となっております。更に小売業界では、家庭での調理機会の減少に伴い、素材型の生鮮食材や商品の売上が落ち込むなどの課題を抱え、家庭での調理機会を増やす提案が必要となっております。

そこで次回 FOODEX JAPAN2018 では、上記業界の抱える課題を解消するため、短時間調理が可能なキット化された半惣菜型業務用製品や、家庭での調理を促進するレシピ動画サービス・調理器具、簡便調理製品などを集中展示する「ショートタイムクッキング」ゾーンを新設いたします。

出展対象製品

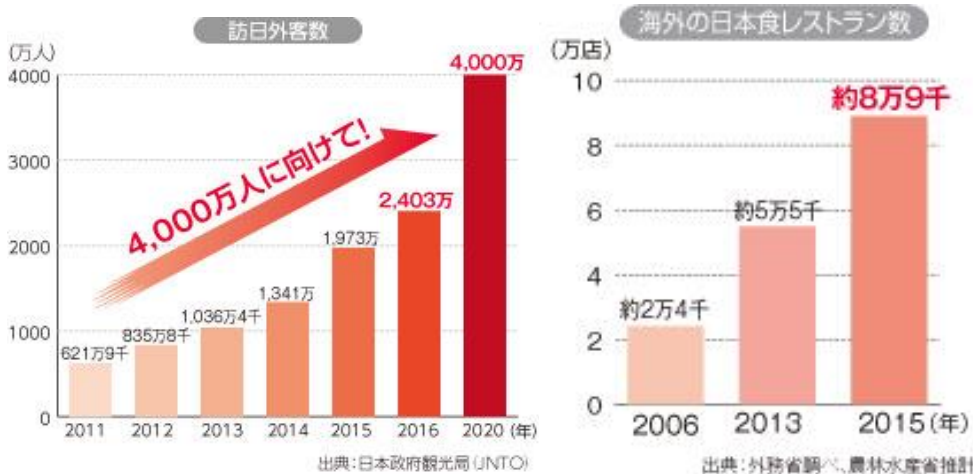
半惣菜型製品、冷凍食品・レンジアップ商品、インスタンス・レトルト食品、カット済・味付け済食品、レシピ動画、時短調理器具など

(2) インバウンド・アウトバウンドの両面から販路拡大のチャンス

グローバルスタンダード ～食の安全・国際規格認証取得～

訪日外客数の増加に伴い、2016年には訪日外国人による消費額も前年比7.8%増の3兆7,476億円を記録するなど、インバウンド市場が拡大しております。

2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催に向けて、増え続ける訪日客を食でもてなす為に、ケータリング、ホテル・旅館、フードサービス業界ではハラル認証をはじめとした国際規格認証を取得した食材を提供することが課題となっております。



更に海外の日本食レストラン数は2006年の約2万4千軒から2015年で3倍以上の約8万9千軒となるなど、今後ますます海外での日本食・日本食材の需要の高まりが予想されます。

FOODEX JAPANでは海外から10,000名以上の来場があり(前回実績10,371名)、ジャパブランドを求める海外バイヤーの要望を多数頂戴しております。

こうした背景から、インバウンド・アウトバウンド両面のニーズに対応した食材・また取得に係る情報を集中展示し、上記課題解決に繋がる提案をする場を提供します。

出展対象製品

FSSC22000 認証、SQF (セーフ・クオリティ・フーズ) 認証製品、GLOBALG. A. P 認証、JFS-E-C 規格、ISO22000、CODEX HACCP、ハラル認証、コーシャ認証製品、JGAP・JGAP Advance 認証、地理的表示 (GI) 保護制度登録製品、各国の水産物認証、またそれら認証取得のための情報など

以上